

## スロベニアも BPA の科学に耳を傾ける 30 以上の国の仲間入り



[Steven Hentges, Ph.D.](#)

2019 年 7 月 18 日 [SAFETY](#)

(別名 BPA として知られている) ビスフェノール A のヒトへの曝露を測定する最善の方法は、バイオモニタリングと呼ばれる解析方法であると科学界では一般的に認められています。特に BPA は体内から尿中へと迅速かつ完全に排出されるので、曝露を測定するために尿中の BPA 量を測定することは広く受け入れられている科学的慣行です。体内に入るもの(すなわち摂取量)は、尿中に出ていくものによって容易に測定可能です。

尿のバイオモニタリングは比較的容易に実施できるので、世界中の 30 カ国以上で研究者は BPA に関する尿のバイオモニタリング研究を実施してきました。それは彼ら自身の単なる好奇心だけのためではなく、BPA を使用しても安全であるという世界中のすべての保健機関の結論を支持するために、むしろ曝露は彼らが本質的に使用した重要なパラメータです。最近の 2 つのバイオモニタリング研究の発表により、スロベニアはこの輝かしい 30 カ国以上のグループに加わりました。

最初の研究では、スロベニアとギリシャの研究者グループが、スロベニアの子供達とその父母等からなる多様なグループの尿中 BPA レベルを報告しました。研究者らは、次のように結論づけています。「BPA レベルは、他のヨーロッパ諸国で報告されているレベルと同等であり、現在の健康影響に基づく指標値をすべて下回っていました。」言い換えれば、スロベニアのグループが測定した BPA 曝露レベルは、スクリーニングレベル評価に基づいて安全です。

しかし、研究者たちはそれだけに留まりませんでした。

フォローアップ調査で、研究者等は、BPA の安全性について 3 つの厳密かつ相補的なアプローチで研究しました：

•最初のアプローチでは、尿中に排泄された BPA の測定値から BPA の摂取量を計算しました。次に、これらの摂取量の値を、[欧州食品安全機関\(EFSA\)](#)が最近設定した安全摂取量レベルと比較しました。

•2 番目のアプローチでは安全摂取量レベルから尿中に現れるであろう対応する BPA レベルを推定しました。これは、バイオモニタリング等価として業界で知られている安全閾値です。尿中の BPA 実測レベルをバイオモニタリング等価と比較しました。

•3 つ目のアプローチは最も複雑ですが、尿中に排泄される前の血流中に実際に含まれる BPA 量に直接焦点を当てているため、最も科学的に重要でしょう。このアプローチはまた、子供、女性、男性間の生理学的な違いを考慮に入れたより繊細な評価を可能にします。

研究者らは、スロベニア人グループに対する BPA の実曝露と 3 つのアプローチすべての安全限界との間に 100 以上の素晴らしい安全限界を報告しました。確かに、3 つの厳密なアプローチの結果は類似しており、スロベニアでの BPA 摂取が安全であることを明確に裏付けています。

スロベニアの研究者によるこれらの新しい結果はまた、30 カ国以上の従来の研究と概ね一致しており、[世界中のどこへ行こうが](#) BPA 曝露について心配する必要がないことを再度裏付けています。